

修了証

株式会社西日本開発コンサルタント

土居 義典 殿

貴方は当校入学以来 日々精進と努力を積み重ね
全てマネジメント課程を修了し「O-college 第
8期修了生」の称号を得ました その功績を讃え
ここに修了証を授与いたします

令和7年6月7日

株式会社エフアンドエム

代表取締役社長 森中 一郎

O-college

校長 原田 博実



補償業務の持続可能な経営基盤の構築: ～外部パートナー連携と BCP 対策～

OC08 土居 義典

1. はじめに

当社は、1970 年に建設コンサルタント業、測量業、補償コンサルタント業を営む企業として高知県高知市で創業しました。その後、事業の方向性を補償コンサルタント業に一本化し、二代目の社長(筆者とは親族ではない)のもとで体制の再構築が進められました。筆者は、2020 年に二代目社長より協力の依頼を受け、当社の業務に参画し、2023 年 4 月に代表取締役役に就任しました。そこで、筆者が大きなリスクだと感じていることは、次の 2 つです。

(1) 公共業務の受注が不安定

(2) 南海トラフ地震による事業継続への影響

これらのリスクをなくす、減らすことを目標に、F&M ビジネススクールで学んだ内容を基礎として、会社のしくみや経営の進め方を考え、実現に向けて行動していきます。

2. 企業概要

「補償コンサルタント業務」を専門としており、公共事業などで必要となる建物の移転や土地の収用に関する調査・算定をします。また、工事振動による評価・補償なども行っています。

会社名 株式会社西日本開発コンサルタント

設立 1970 年 10 月

代表取締役 土居 義典

資本金 1,000 万円

事業内容 補償コンサルタント業務

① 事業損失部門

② 物件部門

3. 問い

筆者は、持続可能な経営を行うために、以下の 2 点の問いを明確にしたいです。

問い1: 安定した収益を得る経営はできるのか

当社の受注の約 90%は公共事業に依存しており、指名競争入札です。入札には、くじ引き要素が含まれ、受注状況は不安定です。過去には、長期間受注がない、資金ショート、外注による品質問題などの経験もあり、運に左右される経営に対して課題を感じています。

問い2: 南海トラフ地震発生後も事業継続することができるか

南海トラフ地震の発生を現実的なリスクと認識したきっかけは、令和 6 年 8 月 8 日に日向灘で発生したマグニチュード 7.1 の地震でした。筆者の住む高知県に、帰省中の子どもたちの安全を案じ、急遽、住居のある東京へと帰京させた経験から、南海トラフ地震の切迫性を実感しました。筆者は南海トラフ地震という重大リスクに備え、全社員と事業を守るための具体的な回避策を調査します。

